



飼い主責任支援が社会を変える

公益社団法人 KNOTS (ノッツ)

代表理事 富永佳与子

あけましておめでとう
ございます。いつも、温
かいご理解とご支援を賜
り、厚く御礼申し上げます。
本年もどうぞ宜しく
お願い申し上げます。

カスすると、飼い主さん
が終生飼養責任を果たし
ていく重要性和社会的要
因による困難への対応の
必要性が浮かび上がります。
これが、「持ち込まれる
命ゼロ」の意味するところ
です。

飼い主さんが終生飼養

大きな地震があり、ペッ
トのために車中泊を続ける
飼い主の皆さまの姿に
は、心を痛めた方も多かつ
たと思います。飼い主は、
制度上、ペットの飼養責
任者であり、この責任を
負えない状況になれば、
動物は保護され、飼い主
は大切な伴侶と一緒に居
られなくなります。

責任を果たしていく為に、
私たちには、各々の仕事
で、やれることがもつと
もつとありそうです。

例えば、最近の引取り
事由の上位となっている
入院や施設入所の課題
は、入院時の預かりやペッ
トと一緒に入れる施設
その為の資金の手立て(保
険・金融商品)等の整備
により、大きく改善でき
るでしょう。熊本の地震
では、環境省も協力し

避難所から入院する方
のペットには、預かり支援
が行われました。

また、基本的なペット
の所有者明示や社会化
(トレーニングやブリー
ディングも含めて)の課
題は、地味なようですが、
確実な成果となります。

熊本の震災では、犬は
返還率が大きく伸びまし
たが、猫は3%に留まり
ました。神戸市では、人
と猫の共生に関する条例
がこの4月より施行され
ますが、猫の所有者明示
については、もつと業界
を挙げて取り組むべき課
題と考えます。

処分ゼロの言葉に目が
行きがちですが、「どうし
てペットが保護されてい
るのか」の要因にフォー

当法人では、運営を担
当する六甲山カンツリー
ハウスのドッグランを
中心としたドッグ事業が

人とペットの共生は、
人類の長い歴史の中で培
われた共生の生態でもあ
ります。人間が創った社
会制度の中で、人もペッ
トも幸せな暮らしが実現
できるように、本年も皆
様の「尽力をお願いして
ご挨拶とさせていただきます。

13年を迎える本年、六甲
山を関西の犬情報発信拠
点とすべく、「六甲山で健
康になる」をテーマとして
展開する予定です。

ペット向けだけでなく、
飼い主さん向け商品も訴
求できる場もできればと
考えております。六甲山
ドッグランは、飼い主さ
んとワンちゃんの温かく
微笑ましい絆で満ち溢れ
ています。私達、動物に
関わる仕事をする者の共
通の使命があるとするな
らば、この飼い主さんと
ペット達の笑顔を創り、
守っていくことではないで
しょうか。